

東京2020パラリンピック5人制サッカー日本代表 田中 章仁選手が凱旋来校 / 神奈川小学校で「つながり」ワークショップを開催します！

横浜市では、東京2020大会を契機とした共生社会の実現に向け、日本電信電話株式会社（NTT）と協定を締結し、スポーツを通じた身体感覚による新たなコミュニケーション手法について、調査検討を進めてきました。

このたび、本事業の一環で、東京2020パラリンピックに5人制サッカー日本代表として出場された田中 章仁選手が、昨年9月に講演・授業を行った横浜市立神奈川小学校に再び来校され、触覚を通じた「つながり」ワークショップを開催します。

◆実施概要

- ・日時：令和3年12月9日（木）9時35分～11時10分
- ・会場：神奈川小学校 体育館（所在地：神奈川区東神奈川2丁目35-1）
- ・対象：6年1組の児童（28名）
- ・協力：日本電信電話株式会社（NTT）、NTTクラリティ株式会社

◆講師



<5人制サッカー>

たなか あきひと

田中 章仁 選手（NTTクラリティ株式会社勤務）

- ・1978年静岡県生まれ
- ・3歳のときに小児がんにより右目を失明し、2002年には左目も失明。その後、2006年に5人制サッカーを始める
- ・東京2020パラリンピック 5位入賞

◆タイムスケジュール

時限	時間	内容
2時限目	09:35～09:50（15分）	田中 章仁選手による東京2020パラリンピック報告会
	09:50～10:20（30分）	Aチーム：5人制サッカー体験 Bチーム：震えるトーチ体験※
3時限目	10:25～10:55（30分）	Aチーム：震えるトーチ体験※ Bチーム：5人制サッカー体験
	10:55～11:10（15分）	田中 章仁選手との質疑応答

※震えるトーチ体験とは

東京2020オリンピック聖火リレープレゼンティングパートナーであるNTTのご協力の下、炎が灯る瞬間を触覚で体験できる特別なトーチを用いて、障害がある人もない人も、分け隔てなくトーチリレーを体感できるワークショップを行います。この体験を通して、視覚障害の方の感覚を理解したり、視覚障害の方とのコミュニケーションを考えるきっかけとします。



裏面あり

◆取材について

現地での取材を希望される場合は、12月8日（水）12時までに、市民局オリンピック・パラリンピック推進課までご連絡ください。

なお、現地では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用や手指消毒、講師・児童との距離を保つ等対策にご協力をお願いいたします。

また、選手に対する個別の取材はできませんので、あらかじめご了承ください。

＼特設ウェブサイト・ツイッター・インスタグラムで情報発信中！／



アカウント名
@tokyo2020_ykhn



アカウント名
@tokyo2020_yokohama

WEB:東京 2020 大会横浜市ウェブサイト

Twitter:横浜市東京 2020 情報

Instagram:横浜市東京 2020 情報

お問合せ先

市民局オリンピック・パラリンピック推進課 担当課長 加藤 久雄 Tel 045-671-4585